

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

ジャイアンツタウンスタジアム完成に合わせた周辺道路等の整備について



土居 議員

問 読売ランド通りでは大雨が降るたびに、沿道住民が溢水対策を行っている。調整池と根方谷戸川の整備完了を望む声は多い。完了予定および対策は。

考えるが市の認識は。

答 「TOKYO GIANTS TOWN」構想による地域活力の向上、駅前広場の再整備、民間活力による駅前開発などの推進を図るため、用途地域を近隣商業地域に指定し、商業・業務施設などを誘導するよう計画的なまちづくりを進めている。

問 読売ランド通りの横断が必要となる。安全対策および案内板の設置は。

答 スタジアム完成時は根方谷戸公園付近の横断歩道利用を想定している。読売ランド線と東長沼矢野口線開通時には信号機と横断歩道の設置を予定している。誘導看板に関しては事業者と協議の上設置などを検討する。

問 よみうりランド南口駅前広場の整備計画は重要な課題である。ジャイアンツタウンスタジアム、よみうりランドなどの玄関口として相応の整備が必要と

答 スタジアム完成時は根方谷戸公園付近の横断歩道利用を想定している。読売ランド線と東長沼矢野口線開通時には信号機と横断歩道の設置を予定している。誘導看板に関しては事業者と協議の上設置などを検討する。

救急搬送におけるマイナンバーカードの活用について



鈴木 議員

問 マイナンバーカードを医療機関・薬局で健康保険証としての利用(マイナ保険証)が12月2日から本格実施した。医療機関などの連携の仕組みは。

答 医療機関などを受診する際、即時にオンライン資格確認等システムと連携し、被保険者の資格情報や医療情報などが医療機関などへ提供され、初診でも、情報をスムーズに共有することができるとしている。

問 マイナ保険証を救急搬送時に活用するメリットと、追加に必要な機材と、導入費用は。

答 総務省消防庁(以下、消防庁)が令和4年度からマイナンバーカードを活用した救急活動を行う実証実験を行っており、傷病者や家族の負担軽減、より迅速

かつ円滑な救急活動の実現などがメリットと聞いている。必要となる機材は、救急現場および救急車内でマイナンバーカードを読み込むためのカードリーダーと傷病者の情報を確認するためのタブレット端末で、一式あたりの費用は、カードリーダーが7千円から1万円、タブレット端末が30万円から40万円、ラニングコストが年間6万円から10万円と聞いている。

問 救急搬送の迅速化・円滑化に向けてマイナンバーカードを大いに活用するべきだが。

答 消防庁では、令和7年度以降に全国展開を推進する方針と聞いており、市でも実証実験に参画した救急隊からの意見をもとに、一層の情報収集に努める。

障がいのある市民の不便さ、生きづらさを解消するための取り組みについて



佐藤 議員

問 市役所第一駐車場における障害者等用駐車場の利用について、障害者等用駐車場を健常者も利用できる場合については。

答 市役所第一駐車場には障害者用の区画が2台分あるが、満車時の滞留車両によるトラブルなどを抑止するための対応として、短時間に限り認めている。

問 障害者等用駐車場がより一層適正に利用されるよう、これからその推進に努めていただきたいと考えるが、市の認識は。

答 駐車場内の安全性を確保しつつ、おおむね適正な利用がなされているものと認識している。今後も、適正な利用が図られるよう、適切な管理に努める。

問 障害者等用駐車場の区画には、「障害者等優先スペース」と

いう掲示物が設置されており、運営実態との齟齬などが生じている状況にあると思う。運用実態に即した状況とするため、当該掲示物は撤去すべきではないか。それとあわせて、当該区画が障害者等専用駐車場であることを示し、一般スペースに空きがない場合は、第二・第三駐車場の利用をお願いする旨の掲示物を設置する。そうすることにより、専用と優先を混同しているような状況が解消され、適正な利用がさらに推進されると考えるが、市の見解は。

核兵器の廃絶により被爆者を二度とうみださない世界をつくっていくために



山岸 議員

問 日本原水爆被害者団体協議会(以下、日本被団協)のノーベル平和賞受賞は、驚きと喜びをもって受け止められ、市内にも団体の運動を牽引してきた市民がいる。市教育委員会としてこれまで行ってきた取り組みは。

答 核兵器廃絶に限定せず、市立公民館で戦争や平和をテーマとした講座の開催、市立図書館で戦争に関する本を集めた展示コーナーの開設などしている。

問 今年度開催、また今後予定をしている講座の回数や内容、学校における取り組みは。

答 公民館主催講座を開催し、講座の中で戦争と平和に触れた内容となっている。学校にお

ける取り組みは、市長の所感。特に、被爆者の声を児童・生徒が直接聞く取り組み状況は。

答 被爆者の立場から核兵器のない世界の実現に向けた長年にわたる努力が評価されたものであると認識している。

長峰中央通りでの諸課題について



つのだ 議員

問 長峰中央通りでは、子供の飛び出し事故などを懸念し、安全対策を望む声がある。また、南多摩尾根幹線道路の夜間工事による迂回路として多くのトラックなどが走行するため、騒音問題も発生している。長峰中央通りの横断歩道沿いの看板設置の現状については。

答 市では、車両運転者に対して効果的と思われる箇所に「歩行者に注意」や「飛び出し注意」などの多くの注意喚起看板を設置している。

問 南多摩尾根幹線道路における夜間工事による、長峰中央通りを迂回路とすることについて現状と課題については。

答 東京電力では、当初、迂回路として若葉台方面より長峰二

丁目交差点を右折後、杜の四番街西交差点を左折し長峰中央通りを通行するルートに車両を誘導していたが、騒音などに対する多くの申し出があったことから、長峰二丁目交差点を右折後、上谷戸大橋北交差点を左折し、上谷戸大橋通りを通行するルートに変更した。しかし、変更後も、周辺住民から生活道路を迂回路としないよう強い要望があったため、対応について調整するよう、市からも東京電力に申し出を行っている。

問 南多摩尾根幹線道路における夜間工事のスケジュールについては。

答 令和7年3月までのスケジュールで工事を予定していると東京電力より聞いている。



▲長峰中央通りに設置されている注意喚起看板